

第 10 章

電気・ガス・上下水道

第 10 章 電気・ガス・上下水道

電気

平成 16 年度における電灯需要の契約口数をみると、490 万 078 口にのぼり、前年度の 484 万 6751 口に比べ 1.1% (5 万 3327 口) の増加となった。その内訳をみると、従量制が 421 万 3643 口 (前年度比 1.1% 増) となっている。また、使用電力量は 197 億 3278 万 kWh で、前年度に比べ 5.0% の増加となり、1 口当たりの年間使用量は 4027 kWh (前年度比 3.8% 増) となった。

一方、電力需要についてみると、契約口数は 51 万 4503 口で、前年度に比べ 1.6% の減少となった。使用電力量は 176 億 1 万 kWh となっている。

ガス

平成 16 年度中の大阪ガス株式会社における都市ガスの生産量は 58 億 5068 万 m³ で、前年度の 55 億 7830 万 m³ に比べ 4.9% の増加となった。

また、消費量は 41 億 8370 万 m³ で、前年度に比べ 1.8% の増加となった。これを内訳でみると、工業用が 20 億 626 万 m³ で、前年度に比べ 2.9% の増加となり、商業用が 6 億 2298 万 m³ で、前年度に比べ 4.7% の増加、公用が 1 億 7443 万 m³ で、前年度に比べ 5.0% の増加、医療用が 1 億 5473 万 m³ で、前年度に比べ 12.8% の増加となり、家庭用が 12 億 2528 万 m³ で、前年度に比べ 2.9% の減少となっている。

なお、大阪府内の需要家の総数は 379 万 7846 戸で、前年度に比べ 0.9% の増加となっている。

上下水道

・ 上水道 平成 16 年度における上水道の総給水量をみると、年間給水量は 12 億 6146 万 m³ で、前年度に比べ 0.1% の増加となっている。これを地域別にみると、大阪市地域が 4 億 8416 万 m³ で、全体の 38.4% を占めている。

栓数は 309 万 3112 件で、前年度に比べ 1.1% の増加となっている。

また、1 人 1 日平均給水量は 348 l で、前年度に比べ 11.7% の減少となっている。これを市町村別にみると、1 位が大阪市の 495 l で、以下、泉佐野市の 446 l、岬町の 413 l の順となっている。

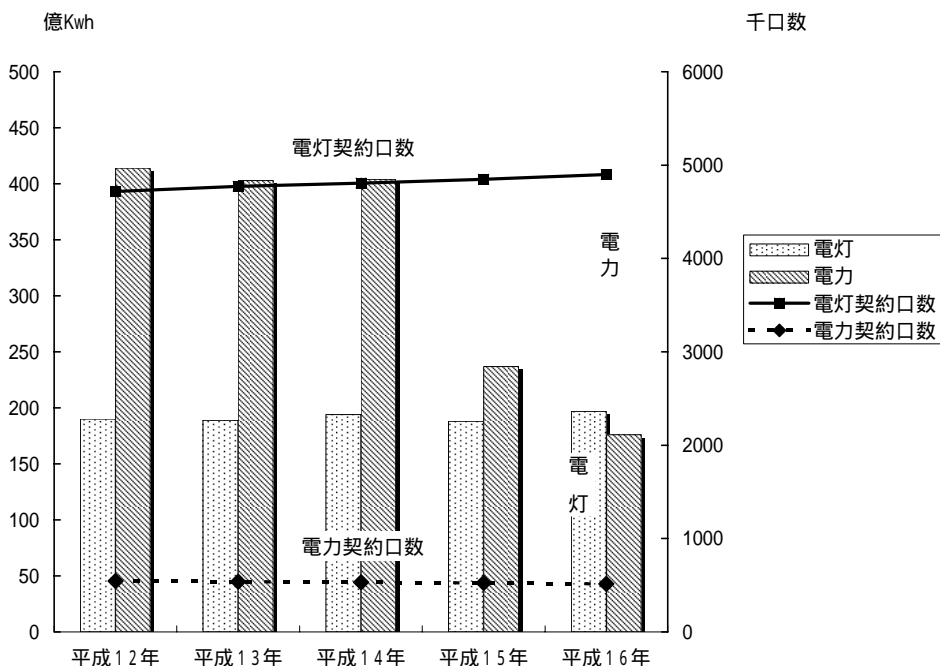
工業用水の使用状況をみると、1 日当たりの総使用量は、前年比 3.2% 増の 803 万 8399 m³ となっている。

このうち、淡水の使用量は 735 万 9481 m³ で、前年に比べ 0.8% の増加となっており、全体の 91.6% を占めている。これを水源別(淡水)にみると、回収水が大半の 91.5% を占めており、その内訳は、化学が 48.8%、石油・石炭が 25.1%、鉄鋼が 16.9% と、この 3 業種で回収水全体の 9 割以上を占めている。

・ 下水道 府内における平成 16 年度末の下水道の普及率をみると、処理人口が 90.1% で、前年度より 1.0 ポイントの上昇となっている。このうち、大阪市地域は 99.9% で、ほぼ全域に普及している。

また、都市下水路延長では、公共下水道への転用がすすんでいるが、都市計画決定が 1 万 245 m、供用中が 9645 m となっている。

使用電力量・契約口数の推移



地域別都市ガス消費量の構成比 (平成16年度)

